

# 震災伝承施設 192カ所

東北整備局  
4県で登録  
仙台・旧荒浜小など

東日本大震災を後世に伝えようと、東北地方整備局は28日、青森、岩手、宮城、福島4県の震災遺構や慰霊碑、モニュメントなど計192カ所を震災伝承施設に登録した。震災遺構をつなぐ「3・11伝承ロード」の構成施設としてルート化し、風化防止や誘客につなげる。

マリノふくしま(いわき市)など。県別の登録数は宮城が100カ所で最多。岩手が70カ所、福島20カ所、青森2カ所が選ばれた。整備局と4県、仙台市で

つくる協議会が昨年12月3日、今年1月31日に募集し、206件の応募があった。①災害の教訓が理解できる②防災に貢献できる③歴史的・学術的に価値がある一など5項目のいずれかに該当することを要件とした。

各施設は駐車場やトイレの設置状況など訪問しやすさや展示内容の理解しやすさなどで分けられ、複数項目を満たすと、伝承施設を示すマークを使えるようになる。整備局は4県で500カ所前後の候補があるの見込んでおり、今後も募集を行う方針。

あすへ  
東日本大震災

登録されたのはたろう観光ホテル(宮古市)旧荒浜小(仙台市若林区)アークア